



梓川・御浜 ふれあい交流会

〜御浜のみなさん 梓川地区へようこそ!〜

8月6日(日)〜8日(火)

の3日間、梓川地区と三重県御浜町の児童による、ふれあい交流会が開催されました。梓川地区から小学5・6年生の児童14人が参加し、御浜町からは同年の児童11人を迎えて、交流を深めました。

この交流会は、平成5年に梓川村(現在の松本市梓川地区)と御浜町の間で友好親善締結を結んだことから始まり、今回で24回目となりました。

参加児童の感想文(抜粋)

ふれあい交流会に参加して

ふれあい交流会では、御浜町の人たちといっしょに松本の自然や文化を学び、交流会を通して仲良くなるということとを、目標にしていました。

私が一日目に、楽しかったことは二つ。一つ目は、松本城です。まどから手をふったり、昔の物をみたりできたので、とても勉強になりました。

二つ目は、夕食です。初めて御浜町の子が前に座ったので、勇気を出して話すと、とても仲良くなれました。
二日目に楽しかったことは、バーベキューと花火です。御浜の子と野菜やお肉を焼いて食べたのは、すごくおいしかったです。思い出にのこりました。
三日目は、みんなとお別れするのがとてもつらかったです。でも、御浜の子と手紙を出すとき、今では手紙を交換しています。いろいろな人たちと仲良くなれて、一つ一つの行動がたのしかったです。



大切な時間



私は、心に残ったことが四つあります。

一つ目は、友達です。御浜町の子たちと、友達になれるか、ドキドキしていたからです。最初に友達になったのは、みかんちゃんです。明るく、やさしく、とてもおもしろく、お話するうちに他の子とも、友達になれました。

二つ目は、上高地です。ここは、空気がすんでとても新鮮な感じがしました。友達といっしょに川に手を入れてみました。ひんやりしていて、夏にぴったりだなあと思いました。

三つ目は、さわんど温泉の足湯体験です。私は、足湯が初めてで、

みんなで足だけつかるお風呂もいいなあと思いました。
四つ目は、梓水苑で御浜町の子たちとの最後の食事です。私はこの三日間、日にも時間もわすれて、あつという間に過ぎていった感じがしました。「二日目にもどりたいなあ」と昼食のとき思いました。私は来年中学生になり、御浜町の子たちとも会えなくなってしまうので、



も、大切な思い出が、たくさんできました。御浜町の子との交流は一生わすれないと思います。

猿の被害から地域を守る

八景山町会では昔から、猿の被害に悩まされてきました。山沿いに広い畑があり、そこに猿がやって来て、大切に育てた作物を食べ荒らしてしまいます。そこで平成12年頃に、畑の北側に電気柵を設置しました。この電気柵によって猿による被害は少し減少したものの、次は畑の南側からも猿が来るようになりま

した。
今年の春、畑を囲むように南側にも電気柵を設置しました。これによって上の



畑の猿の被害はほとんど無くなった一方で、今度は県道沿いの下の畑が猿の被害に遭っています。八景山町会での猿の捕獲数は、平成26年に32匹、27年に25匹、28年には19匹と減少していますが、下の畑を猿の被害から守るかが今後の課題になっています。

梓川の夏、各町会の催し

この夏、松本水輪花火大会、梓川夏祭りを始め、各町会でも様々なお祭りやイベントが開催されました。

上野町会 夏休み子供ゲーム大会

8月14日(月)、例年より幾分涼しさを感じさせるお盆中日に、上野構造改善センターを会場に「夏休み子供ゲーム大会」が開催されました。

夕刻より徐々に子供たちが集まり始め、子供たちはボンボンすくいに熱中したり、役員が焼く焼き鳥や綿あめを食べたりして、それぞれが夏の夕方のひと時を楽しみました。

中には焼き鳥をほおばりながら、再度ボンボンすくいにチャレンジし、熱中するあまり焼き鳥をプールに落としてしまい、会場が笑いに包まれるなど、とても和やかな雰囲気の中で行われました。



その後は、センターでビンゴゲームが行われ、景品をめぐり、とても盛り上がりつつありました。最後に、参加賞のお菓子和花火が配られ、今年の大会も終了しました。

この子供ゲーム大会は、子供30人程度のささやかなイベントですが、子供や大人、役員などの参加された全員の笑顔が印象に残るイベントになりました。

丸田町会 送り火流し・納涼祭

8月16日(水)午後7時から、丸田公民館前の立田堰で「送り火流し」が行われました。送り火船は、以前に「送り火船作り講習会」を開き、子供たちが高齢者クラブや有志の協力を得ながら、作ったものです。

流す前に自分の名前を言い、船のキャンバに火をつけて、送り火船を流します。参加者は、



丸田町会 送り火流し



丸田町会 納涼祭

自分の送り火船が最後まで流れるか見守っていました。

納涼祭ではスーパードールすくい、綿あめ、かき氷、ドリンクなどのコーナーを設けました。そして、トリキンG様の協力で「やきとり」「からあげ」など7品の料理と、生ビールが振舞われました。

会場にきた子供から大人まで、自分の好きな物を食べた後、飲んだりして、普段はゆっくりに会話を交わすことができないう方も、楽しそうに交流を深めていました。

花見町会 祭り太鼓の修行中

花見町会では9月14日のお祭り小学生による子供みこ

しの練り歩きを行っており、祭り当日は、夕方5時前から約1時間半にわたり、楽器を演奏しながら町会内を練り歩きます。

子供みこは、長年実施していなかったものを約30年前に復活させました。子供みこで行う「祭り太鼓」は、町会の中でも年配の方々しか演奏することができません。そのため、8月中旬から週2回のペースで子供たちが公民館に集まり、年配の方々から指導を受けて、演奏ができるよう練習に励みました。少子化により続けていくことも困難になってきていますが、地域住民一丸となって伝統を守っています。



雑記帳



先日久しぶりに松本駅方面へ出掛けると、外国人観光客の方に話しかけられました。わざわざ松本まで観光に来てくれるのは嬉しく、ぜひ松本の旅行を楽しんでほしいと思いました。

因みに外国人の方が日本を旅行先に選ぶ理由の一つに「安全性」があるそうです。この外国人の方に評判の「安全性」などは観光客呼び込みが目的ではなく、住んでいる人たち

が自分の住みやすい環境を心掛けた結果だと思います。自分たちが住みやすい地域を維持することで、自然と人が集まる環境になっているのだと思います。ただ残念ながら長野県は「移住したい県」ランキングではTOP10には入っていません。しかし、「自分たちが安心して住める地域」を追求していくことで、自然と人が集まるようになると思います。例えば「ごみゼロ運動」などの地道な地域活動が、地域の安全性の向上に繋がっているのだと思います。自分たちにもできる地域活動が、実は地域の活性化になっているのだと思います。